

令和
4年度

浦安の子どもたちの 確かな学力の向上を目指して 全国学力・学習状況調査結果

令和4年4月19日実施

本資料の目的

- ・「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえた、**授業改善**に向けた取組をより一層進める。
- ・調査結果を調査対象学年の結果として扱うのではなく、**学校全体の指導改善に活用し、組織的・継続的な取組**に役立てる。

調査内容

- ・教科に関する調査・・・国語、算数・数学、理科
- ・生活習慣や学校環境に関する調査・・・児童生徒質問紙、学校質問紙

結果概要

(1) 各教科

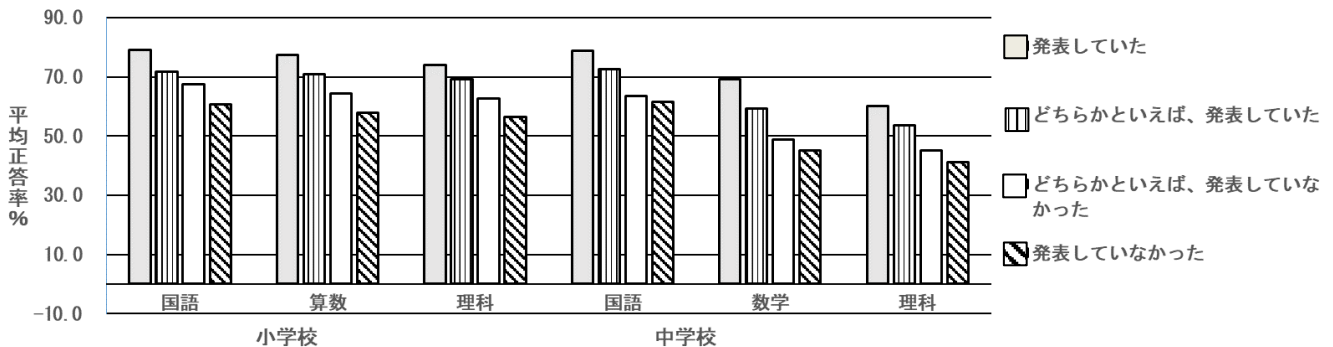
	小学校6年生 平均正答率 (%)			中学校3年生 平均正答率 (%)		
	浦安市	千葉県 (公立)	全国 (公立)	浦安市	千葉県 (公立)	全国 (公立)
国語	72	66	65.6	71	68	69.0
算数	70	63	63.2	58	50	51.4
理科	68	63	63.3	52	48	49.3

※千葉県・全国ともに公立学校の平均正答率 (%) です。

※文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

(2) 児童生徒質問紙調査より

主体的・対話的で深い学びに関する項目では、「**授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた**」と肯定的に回答した児童生徒に、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。



肯定的に回答した児童生徒の割合は、**小学校 66.9% 中学校 68.6%**でした。全国値**小学校 65.6% 中学校 63.5%**と比較すると浦安市は高い傾向がありました。

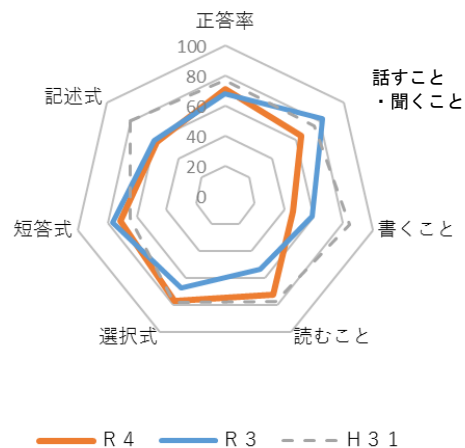
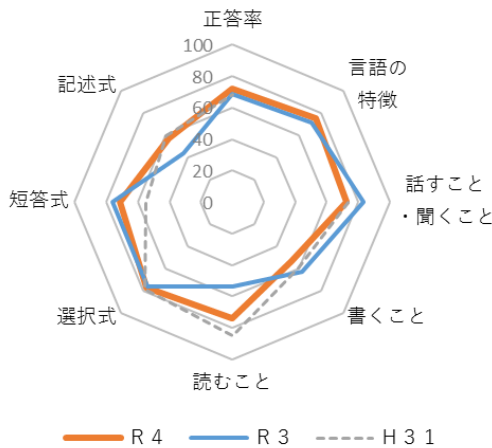
日々の授業の中で、児童生徒が自らの考えを発表する場面設定が重要です。

浦安市教育委員会

小学校・国語

中学校・国語

学習のねらいに合った適切な言語活動を位置づけましょう。根拠を明確に自分の考えをまとめさせ、伝え合う活動をとおして自分の考えを振り返る時間をとりましょう。



小学校・・・ 3(二)

課題が見られた主な設問

中学校・・・ 2(三)

出題の趣旨 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。※第6学年までの内容
〔共有〕の指導事項は調査で取り上げることが初

出題の趣旨 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。※第1学年までの内容

【条件】

- ・【文章2】のよさを書くこと。
- ・【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- ・六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(九十九字)

【伝え合いの様子の一部】をよく読み答える。

島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

平均正答率 浦安 43.3% 全国 37.7%
 (誤答例) 【文章2】のよさについてかけていない 浦安 23.8%

【条件】

- ・【農林水産省のウエブページにある資料の一部】から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ(「」)でくくると。
- ・「例えば」に続けて書くこと。

【正答例】

（例えば）農林水産省のウエブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

（例えば）資料には、「熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能」な「情報共有の簡易化」なども効果として挙げられている。

文章作成ソフトでの【コメントの一部】を踏まえる。「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたがたが書くように書きますか。次の条件にしたがって書きなさい。

平均正答率 浦安 25.3% 全国 20.5%
 (誤答例) 引用する部分をかぎかっこでくくっていない 浦安 44.1%

他学年・他教科で育てる

小学校

中学校

① 事実や感想、意見等を区別して、必要な情報が文章のどこにあたるのか、という視点をもって読み取らせる。

② 「文章の良さ」について、構成や表現方法から判断できるようにする。

・ 互いの発表に対する感想や意見を具体的に伝える経験を積み重ねられるようにする。

・ 文章を正しく理解できるように、「これ」「それ」のような指示代名詞が文章の何を指し示すか意識して読ませる。

・ 他教科の学習や日常生活の場面で自分の考えを伝える際には、根拠を明確にさせる。

・ 自分の思いや考えと、引用した文章との違いをはっきり区別し、記述させる。

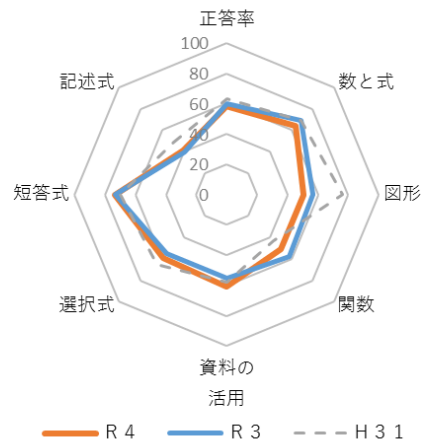
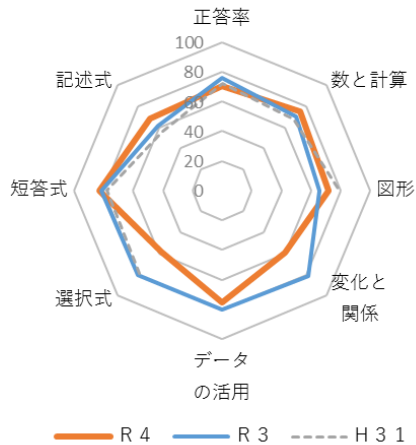
① 「引用」の仕方について、その効果や留意点を理解させる。また、自分の意見を支える根拠を明確にする方法の一つとして、生徒自身が自分の書く文章に「引用」を繰り返して用いることができるようにする。

② 文章の基本構造(主語、述語、目的語等)を意識させ、内容が正しく伝わるように書くことを習慣づける。

小学校・算数

中学校・数学

表やグラフを様々な視点から目的に応じて読み取る学習が必要です。複数の表やグラフから読み取った内容をグループや学級全体で分類整理する学習が有効です。



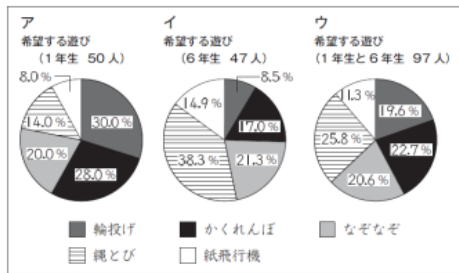
小学校・・・**3**(3)

課題が見られた主な設問

中学校・・・**4**

出題の趣旨 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。 ※第5学年の内容

アンケート調査の結果は、下のようなグラフになりました。



まなみさんは、交流会の遊びを次のように決めようと考えました。

【まなみさんの考え】

1年生と6年生が希望する遊びの割合を見て、その割合がいちばん大きい遊びに決めるとよいと思います。

【まなみさんの考え】をもとにすると、どのグラフを見ればよいですか。また、どの遊びに決まりますか。

【正答】 グラフ：ウ 遊び：縄とび

平均正答率 浦安 69.5% 全国 66.9%
(誤答例) グラフ：ウ 遊び：かくれんぼ
浦安 14.7%

出題の趣旨 関数を用いて事象を捉え考察する場面において必要となる「事象の特徴を的確に捉えること」「一次関数の変化の割合の意味を理解していること」ができるかどうかをみる。 ※第2学年の内容

下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-11	-7	-3	1	5	9	13	...

イ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

ウ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

エ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-7	-4	-1	2	5	8	11	...

【正答】 ア

平均正答率 浦安 45.7% 全国 38.7%
(誤答例) イ 浦安 30.2%

他学年・他教科で育てる

小学校

- ・日常的な事象について、必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理できるようにする。
- ・データの特徴や傾向に着目して考察する場面を設定する。

中学校

- ・具体的な事象について、表、式、グラフを用いて、効果的に表現できるようにする。
- ・情報を読み取る際は、常に根拠をもって説明できるようにする。

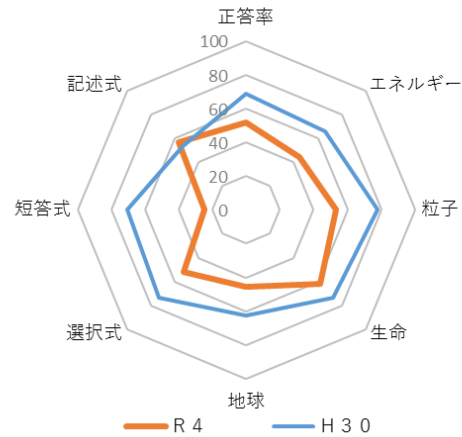
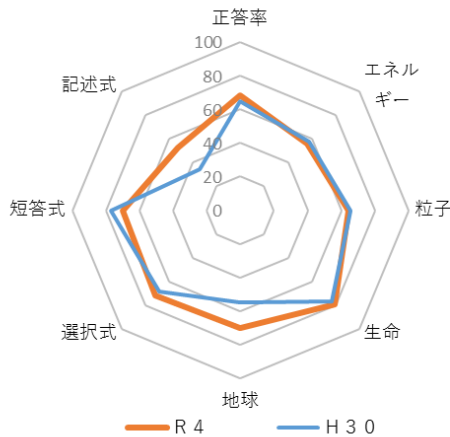
- ①複数のグラフから目的に応じたグラフを選択できるようにする。
- ②様々なデータの特徴や傾向を多面的・多角的な視点で読み取り、比較検討する活動を取り入れる。

- ①伴って変わる2つの数量を取り出して、その変化や対応の様子に着目させる。
- ②表、グラフの特徴を見出し、式と対比させる。
- ③ x 、 y の値の変化をもとに、一次関数の特徴について考察できるようにする。

小学校・理科

中学校・理科

習得した知識は、説明する活動などを通して活用することが大切です。また、【課題】【結果】【結論】のつながりを意識して、考察をまとめることが大切です。



小学校・・・**3**(1)

課題が見られた主な設問

中学校・・・**8**(1)

出題の趣旨 日光は直進することを理解しているかどうかをみる。 ※「エネルギー」を柱とする領域

出題の趣旨 アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する。 ※「生命」を柱とする領域

右の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板に当たったときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。

1 たかしさん 2 はなこさん 3 かつやさん 4 全員

【正答】 3

平均正答率 浦安 28.9% 全国 27.9%
(誤答例) 2 浦安 50.5%

【課題 1】 アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験 1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

② 覆う前後の行列の様子を写真に撮り比較する。

③ ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果 1】

6月9日(13時から15時) 場所: 中央公園

覆いをする前	1回目	2回目	3回目
覆いをした後			

【考察 1】 この実験からは、アリの行列のようすは **P** のので、**Q** と考えられる。

P、**Q** に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

【正答】 P : 変わらない Q : 視覚による情報をもとに行列を作らない

平均正答率 浦安 59.4% 全国 55.2%
(誤答例) P : 行列は変わっていない
Q : 変わらない 浦安 24.7%

他学年・他教科で育てる

小学校

・習得した知識を用いて、実際の事象・現象を説明したり自分の考えを述べたりする場面を設ける。

中学校

・自分の考えや意見が課題に正対しているかを意識させる。
・考えや意見を相手に伝える際は、理由や根拠を示すとともに、内容が的確であったか振り返らせる。

- ① 観察・実験を行う際は、方法を示すのではなく、主体的に問題解決できるよう、どのような方法で確かめられるか、考えさせる。
- ② 観察・実験したことや分かったことを自分の言葉(文章)で説明したり、まとめたりする活動を取り入れる。

結果の考察をする際には、【課題】【結果】【結論】のつながり意識して表現させる。(考察の示し方の例)

課題より
実験・結果より

結論

アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるのかを調べるために、行列を写真に撮った。その後、行列に覆いをして10分間まわりの景色を見えなくしたところで、覆いを外し、再度、写真を撮った。この操作を3回繰り返した。3回の結果を比較したところ、アリの行列のようすに特に大きな変化は見られなかった。このことから、アリは、視覚による情報をもとに行列を作らないことがわかった。